
© Ondine Bertrand

10/10(土) 一般発売開始

入場料
S¥38,000　A¥34,000
B¥29,000　C¥24,000
D¥19,000

チケットお申込み
- サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 http://suntory.jp/HALL/
- イープラス https://eplus.jp/〈PC＆携帯〉
- チケットぴあ https://t.pia.jp/〈PC＆携帯〉(Pコード:338-103)
- ローソンチケット https://l-tike.com/〈PC＆携帯〉(Lコード:35955)

主催：AMATI／サントリーホール　協力：ユニバーサル ミュージック合同会社

お問合せ：AMATI Tel.03-3560-3010 https://www.amati-tokyo.com/ 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-5-S103

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求め下さい。
①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意下さい。③演奏中は入場できません。④未就学児の入場はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

近づけないほど熱を帯び、息をのむほど美しい
“ヴァイオリニストの王”ハイフェッツに捧げる、ヴァイオリン名曲集

ハイフェッツへのオマージュ

マリア・ドゥエニャス(ヴァイオリン)　シモン・ボリバル交響楽団(ベネズエラ)　指揮：グスターボ・ドゥダメル



UCCG-45139 ¥3,300(税込)

【収録曲】
エドゥアール・ラロ (1823–1892)　1-5 スペイン交響曲 作品21
エーリヒ・ヴォルフガング・コルンゴルト (1897–1957)　6-8ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35
クロード・ドビュッシー (1862–1918)　9亜麻色の髪の乙女 (前奏曲集 第1巻より／マティアス・シュピンドラー編)　10レントよりも遅く(レオン・ロック編)
11髪 (《ビリティスの3つの歌》より／ヤッシャ・ハイフェッツ編)
マヌエル・ポンセ (1882–1948) 12エストレリータ (ヤッシャ・ハイフェッツ編)

演奏1-9：マリア・ドゥエニャス(ヴァイオリン)　シモン・ボリバル交響楽団(ベネズエラ)　指揮：グスターボ・ドゥダメル
演奏10-12：マリア・ドゥエニャス(ヴァイオリン)　イタマール・ゴラン(ピアノ)

世界を驚かせた、
ドゥダメル＆シモン・ボリバルの鮮烈なデビュー録音！

ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》・第7番

シモン・ボリバル・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ　指揮：グスターボ・ドゥダメル



UCCG-53099 ¥1,650(税込)

【収録曲】
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770-1827)
1 交響曲 第5番 ハ短調 作品67《運命》
2 交響曲 第7番 イ長調 作品92

シモン・ボリバル・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ
指揮：グスターボ・ドゥダメル
録音：2006年2月　カラカス

UNIVERSAL MUSIC GROUP　販売元：ユニバーサル ミュージック 合同会社

EL SISTEMA

SIMÓN BOLÍVAR
SYMPHONY ORCHESTRA
OF VENEZUELA


© Jason Bell

Simón Bolívar Symphony Orchestra of Venezuela

Gustavo Dudamel, Music & Artistic Director

令和8年度 文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業
Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the Fiscal 2026

TOKYO 2027 SATURDAY FEBRUARY 6 / SUNDAY FEBRUARY 7

AMATI　SUNTORY HALL

サントリーホール開館40周年記念公演

シモン・ボリバル交響楽団　グスターボ・ドゥダメル（音楽・芸術監督）

ドゥダメルが描く壮麗なるベートーヴェン〈歓喜〉と〈熱狂〉がホールを満たす

ドゥダメルが、気心の知れた仲間シモン・ボリバル交響楽団と来日する。このコンビネーションをいかに形容したら良いだろう。
圧倒的なエネルギーと爆発的な高揚感。それとも、悠久で深遠な音楽の限りなさだろうか。
今回のツアーでは、2027年ベートーヴェン・イヤーにちなみ、第九交響曲とフィデリオを上演する。
まさに彼らに相応しい歓喜と救済の愛をテーマとする2曲を私たちに届けてくれるのだ。ベートーヴェンの伽藍のような音楽を、ドゥダメルとシモン・ボリバル交響楽団は、今生まれたかのような鮮烈な演奏で紡いでゆく。そして、今回の来日公演には、シモン・ボリバル合唱団、新国立劇場合唱団に加え、ドゥダメルの強い希望で、聴覚障がいのあるメンバーで構成されたホワイトハンドコーラスもベネズエラから参加する。社会活動にも熱心なドゥダメル。やはり聴覚障害に苛まれるベートーヴェンが生み出した畢生の名作「フィデリオ」を、彼らと共に奏でることに特別な意義を見出しているのだ。ドゥダメルの深い思いは、私たちに音楽の持つ無限の可能性を示してくれるに違いない。
「フィデリオ」では、コンサートホール上演の範疇を遥かに超えて様々な演出が施される。歌手は衣装を着用し、動きや照明にも演出が施される。音楽に集中しながらも、視覚的ドラマトゥルギーを備えた上演となる。
そして、迫りくるクライマックス。私たちは一生忘れ得ぬ感動と感激に打ちのめされることだろう。


© Gerardo Gomez

Gustavo Dudamel, Music & Artistic Director, Simón Bolívar Symphony Orchestra of Venezuela

2027 2.6［土］14:00開演（13:30開場）サントリーホール
Saturday February 6, 2027, 2p.m. at Suntory Hall

ベートーヴェン：交響曲第9番 ニ短調 作品125
Lv.Beethoven: Symphony No. 9 in D Minor, Op. 125, "Choral"

©Sarah Katharina
セレナ・サエンス（ソプラノ）
Serena Sáenz, Soprano

©Katrin Ches
リリア・イストラティ（アルト）
Lilia Istratii, Alto

©Bella Wang Photography
ジョン・マシュー・マイヤーズ（テノール）
John Matthew Myers, Tenor

©Manuel Gunther
ドミトリー・イヴァシチェンコ（バス）
Dmitry Ivashchenko, Bass

合唱：シモン・ボリバル国立合唱団 Simón Bolívar National Choir
ホワイトハンズ・コーラス（白い手の手話による合唱団）
Coro de Manos Blancas (White Hands Choir)
新国立劇場合唱団 The New National Theatre Chrous

入場料：
S¥38,000　A¥34,000
B¥29,000　C¥24,000
D¥19,000　（全席指定・税込）

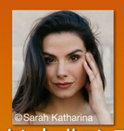
2027 2.7［日］17:00開演（16:30開場）サントリーホール
Sunday February 7, 2027, 5p.m. at Suntory Hall

ベートーヴェン：歌劇「フィデリオ」作品72
Lv.Beethoven: Fidelio, Op. 72
〔全2幕／ドイツ語上演・字幕付き〕
演出付きセミ・ステージ形式


©Ornato
サイオア・エルナンデス（レオノーレ）
Leonore: Saioa Hernández


©Bella Wang Photography
ジョン・マシュー・マイヤーズ（フロレスタン）
Florestan: John Matthew Myers


©Manuel Gunther
ドミトリー・イヴァシチェンコ（ロッコ）
Rocco: Dmitry Ivashchenko


©Sarah Katharina
セレナ・サエンス（マルツェリーネ）
Marzelline: Serena Saenz


©Johannes Ifkovits
ジンシュ・シャホウ（ヤキーノ）
Jaquino: Jinxu Xiahou


ヨアヒム・ゴルツ（ドン・ピツァロ）
Pizarro: Joachim Goltz


©Dario Acosta
エレオマール・クエジョ（ドン・フェルナンド）
Don Fernando: Eleomar Cuello

演出：アルベルト・アルベロ Alberto Arvelo, Director
合唱：シモン・ボリバル国立合唱団 Simón Bolívar National Choir
ホワイトハンズ・コーラス（白い手の手話による合唱団）
Coro de Manos Blancas (White Hands Choir)

入場料：
S¥38,000　A¥34,000
B¥29,000　C¥24,000
D¥19,000　（全席指定・税込）


© Sisi Burn

グスターボ・ドゥダメル（音楽監督／指揮）
Gustavo Dudamel, Music Director / Conductor

グスターボ・ドゥダメルは、音楽を通じてより良い世界を創造することに尽力している。人々を鼓舞し、人生を変える芸術の力への揺るぎない理念のもと、世界各地の機会に恵まれない人々に教育と芸術へのアクセスを広げるとともに、クラシック音楽の影響力を新たな、そしてより多くの聴衆へと届けるため、精力的に活動してきた。ベネズエラの質素な環境に育った少年から、芸術面、社会面の双方で比類なき功績を築くまでに至った彼の歩みは、文化が一人の人間の人生に意味を与え、ひいては世界により大きな調和をもたらし得ることの、生きた証ともいえる。
現在、シモン・ボリバル交響楽団の音楽・芸術監督を務めると共に2026年9月にニューヨーク・フィルハーモニックの音楽・芸術監督に就任。17年間音楽監督を務めたロサンゼルス・フィルハーモニックの音楽・芸術監督からの退任と同時に、芸術・文化桂冠アーティスト、YOLA創設指揮者・桂冠指揮者という新たなタイトルが与えられた。

シモン・ボリバル交響楽団
Simón Bolívar Symphony Orchestra of Venezuela

ベネズエラのシモン・ボリバル交響楽団は、1975年にホセ・アントニオ・アブレウが創設した世界的な音楽教育運動「エル・システマ」を代表するオーケストラ。2005年にアブレウによって創設され、結成以来グスターボ・ドゥダメルが音楽活動を率いている。エル・システマから巣立った優れた音楽家たちが集い、音楽の力によって若者たちに新たな可能性をもたらすという理念を体現している。ロンドンのロイヤル・アルバート・ホール、ウィーン・コンツェルトハウス、ミラノ・スカラ座、パリのサル・プレイエル、ローマのサンタ・チェチーリア音楽院など、世界有数の舞台で演奏。サイモン・ラトル、クラウディオ・アバド、ダニエル・バレンボイム、エサ＝ペッカ・サロネンら著名指揮者とも共演してきた。国際ツアーや高い評価を受ける録音を通して、エル・システマの芸術的卓越性と社会変革への精神を世界に発信し、ベネズエラを代表する文化大使として活動を続けている。

シモン・ボリバル国立合唱団
芸術監督：ロウルデス・サンチェス
Simón Bolívar National Choir / Lourdes Sánchez, Artistic Director


©El Sistema

2006年、ホセ・アントニオ・アブレウの理念のもと創設されたシモン・ボリバル国立合唱団は、エル・システマで育まれた若手声楽家による世界水準の合唱団。ルネサンスから現代、ベネズエラ・ラテンアメリカ作品、管弦楽と合唱による大作まで幅広いレパートリーを誇る。ドゥダメル、ラトル、リリングら世界的指揮者と共演し、欧米各地の主要ホールや音楽祭で活躍。2025年にはメキシコ、ローマ、バチカンで公演を行うなど、国際的な活動を続けている。

新国立劇場合唱団
The New National Theatre Chorus



新国立劇場は、オペラ、バレエ、ダンス、演劇という現代舞台芸術のためのわが国唯一の国立劇場として、1997年10月に開場した。新国立劇場合唱団も年間を通じて行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を開始した。劇場外においても多くの国内外オーケストラとの共演を果たしている。

ホワイトハンズ・コーラス（白い手の手話による合唱団）
Coro de Manos Blancas (White Hands Choir)


©El Sistema

ベネズエラのエル・システマに属する「ホワイトハンズ・コーラス」は、障害のある人とない人が共に活動する独自の合唱団。手話を取り入れた表現で、ラトル、アバド、ドゥダメル、ドミンゴら世界的音楽家から高い評価を受けている。2024年にはコールドプレイの楽曲「feels like im falling in love」のミュージックビデオにも出演。現在約100名が在籍し、歌唱部門とベネズエラ手話部門が一体となって活動している。